



2024年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月14日

上場会社名 AIメカテック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6227 URL <https://www.ai-mech.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員社長 (氏名) 阿部 猪佐雄
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 米田 達也 (TEL) 0297-62-9111
 四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第2四半期の連結業績(2023年7月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	5,283	1.6	△389	—	△433	—	△292	—
2023年6月期第2四半期	5,200	△4.1	△224	—	△297	—	△220	—

(注) 包括利益 2024年6月期第2四半期 △297百万円(—%) 2023年6月期第2四半期 △259百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年6月期第2四半期	円 銭 △52.16	円 銭 —
2023年6月期第2四半期	円 銭 △39.15	円 銭 —

(注) 2023年6月期第2四半期及び2024年6月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2024年6月期第2四半期	百万円 21,745	百万円 8,187	% 37.6	円 銭 1,456.42
2023年6月期	22,134	8,986	40.6	1,595.88

(参考) 自己資本 2024年6月期第2四半期 8,186百万円 2023年6月期 8,984百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年6月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 45.00	円 銭 45.00
2024年6月期	—	0.00			
2024年6月期(予想)			—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日~2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,031	29.6	1,415	143.5	1,300	177.0	884	△25.9	157.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年6月期2Q	5,630,000株	2023年6月期	5,630,000株
② 期末自己株式数	2024年6月期2Q	9,141株	2023年6月期	20株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年6月期2Q	5,607,755株	2023年6月期2Q	5,629,980株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(四半期連結損益計算書関係)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、物価上昇圧力の鈍化もあり総じて回復傾向にありましたが、不動産市場の停滞に端を発した中国の成長鈍化や中東情勢等を背景に、先行きへの懸念は続きました。国内経済は、海外景気下振れなどの懸念はあるものの、雇用・所得環境改善による消費の持ち直しもあり、緩やかな回復基調をたどりました。

当社グループの事業環境について、半導体業界において、生成AIサーバー用を中心とする先端半導体向け投資需要が旺盛に推移する中、半導体市況にも底入れが伺われ、フラットパネルディスプレイ（FPD）業界では、LCD向けを中心にパネル市況の低迷による投資抑制が続き、マイクロディスプレイなど次世代ディスプレイ向け投資需要にも足跡みが見られました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の当社グループの受注金額は10,519百万円（前年同期比53.7%増）、受注残高は25,821百万円（前年同期比62.2%増）となりました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高5,283百万円（前年同期比1.6%増）、営業損失389百万円（前年同期は営業損失224百万円）、経常損失433百万円（前年同期は経常損失297百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失292百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失220百万円）となりました。

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

(IJPソリューション事業)

主力のマイクロディスプレイ向け一括封止ラインの需要は相応に確認できるものの、顧客の設備投資計画の見直しなどにより、受注・出荷が翌四半期以降にずれ込む案件が散見されました。引き続き、次世代ディスプレイ向け投資ニーズの捕捉と、合弁会社によるナノインプリントリソグラフィ事業の早期立ち上げに注力し、受注・売上の積み上げを図って参ります。

このような状況のもと、当セグメントの当第2四半期連結累計期間の売上高は507百万円（前年同期比73.4%減）、セグメント損失は36百万円（前年同期は172百万円の利益）となりました。

(半導体関連事業)

メモリ等の投資回復の遅れを受け、はんだボールマウンタの需要は鈍化しました。一方、生成AIサーバー用先端半導体向け投資需要の拡大により、先端パッケージにおけるウェハ薄板化に重要な役割を果たすウェハハンドリングシステムを中心に、受注・出荷は順調に推移しました。今後は、パワー半導体向けUV・プラズマ装置需要、第1四半期に上市した、JUKI（株）との共同開発によるはんだボールマウンタ新機種の需要捕捉により、一層の受注・売上の拡大に取り組んで参ります。

このような状況のもと、セグメントの当第2四半期連結累計期間の売上高は4,564百万円（前年同期比275.0%増）、セグメント利益は471百万円（前年同期比99.3%増）となりました。

(LCD事業)

パネル市況の底入れは伺われるものの、顧客の投資抑制は続き、受注・出荷とも振るいませんでした。引き続き、顧客投資動向を見極めながら、部品・改造などのアフターサービス需要の掘り起こしを中心に、中型パネルの新規投資需要や、既存設備更新需要の捕捉に注力し、一定規模の受注・売上確保を目指して参ります。

このような状況のもと、当セグメントの当第2四半期連結累計期間の売上高は210百万円（前年同期比89.8%減）、セグメント損失は35百万円（前年同期は75百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ683百万円減少し、19,174百万円となりました。主として、半製品632百万円、仕掛品974百万円の増加、並びに、現金及び預金810百万円、売掛金及び契約資産958百万円、未収入金814百万円の減少によるものであります。

有形固定資産は、前連結会計年度末から299百万円増加し、2,442百万円となりました。

無形固定資産は、前連結会計年度末から0百万円減少し、26百万円となりました。

投資その他の資産は、前連結会計年度末から4百万円減少し、101百万円となりました。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末から389百万円減少し、21,745百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ612百万円増加し、12,467百万円となりました。主として、短期借入金2,700百万円の増加、並びに、電子記録債務908百万円、買掛金793百万円の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ202百万円減少し、1,089百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ798百万円減少し、8,187百万円となりました。主として、親会社株主に帰属する四半期純損失292百万円、前期の期末配当253百万円の減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は37.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ、810百万円減少し、1,903百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、2,533百万円（前年同期は1,269百万円の使用）となりました。資金の使用は、主に棚卸資産の増加1,607百万円、仕入債務の減少1,701百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、418百万円（前年同期は179百万円の使用）となりました。資金の使用は、主に有形固定資産の取得による支出418百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果取得した資金は、2,141百万円（前年同期は1,146百万円の取得）となりました。資金の取得は、主に短期借入金の純増額2,700百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績及び今後の動向を勘案した結果、現時点においては、2023年8月8日公表の「2023年6月期 決算短信」に記載の業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,713,839	1,903,762
売掛金及び契約資産	8,777,809	7,819,217
電子記録債権	57,662	346,993
半製品	1,577,148	2,210,136
仕掛品	5,598,127	6,572,382
原材料	5,625	6,304
未収入金	1,050,357	235,635
その他	78,940	81,343
貸倒引当金	△1,918	△1,412
流動資産合計	19,857,592	19,174,364
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	310,860	308,093
機械装置及び運搬具（純額）	878,146	869,330
工具、器具及び備品（純額）	54,041	53,686
土地	656,000	656,000
リース資産（純額）	67,841	60,572
建設仮勘定	175,997	494,742
有形固定資産合計	2,142,887	2,442,425
無形固定資産		
ソフトウェア	27,902	26,951
無形固定資産合計	27,902	26,951
投資その他の資産		
その他	105,671	101,299
投資その他の資産合計	105,671	101,299
固定資産合計	2,276,461	2,570,676
資産合計	22,134,054	21,745,040

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	2,411,749	1,503,361
買掛金	2,467,377	1,673,736
短期借入金	5,200,000	7,900,000
1年内返済予定の長期借入金	50,000	91,500
リース債務	15,869	15,933
未払金	396,543	280,156
未払費用	295,346	256,536
未払法人税等	123,284	22,667
前受金	473,525	260,034
賞与引当金	272,989	309,229
役員賞与引当金	26,500	16,900
製品保証引当金	51,232	59,232
受注損失引当金	1,165	—
その他	69,879	78,380
流動負債合計	11,855,464	12,467,670
固定負債		
長期借入金	425,000	358,500
リース債務	59,302	51,319
役員退職慰労引当金	48,198	50,278
退職給付に係る負債	448,341	426,684
繰延税金負債	311,015	202,746
固定負債合計	1,291,858	1,089,528
負債合計	13,147,322	13,557,198
純資産の部		
株主資本		
資本金	450,000	450,000
資本剰余金	4,215,238	4,001,347
利益剰余金	4,194,378	3,648,515
自己株式	△30	△34,133
株主資本合計	8,859,586	8,065,729
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	90,839	90,527
退職給付に係る調整累計額	34,332	30,066
その他の包括利益累計額合計	125,172	120,593
新株予約権	1,973	1,519
純資産合計	8,986,731	8,187,842
負債純資産合計	22,134,054	21,745,040

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
売上高	5,200,151	5,283,308
売上原価	4,166,411	4,316,340
売上総利益	1,033,739	966,968
販売費及び一般管理費	1,258,658	1,356,456
営業損失(△)	△224,918	△389,488
営業外収益		
受取利息	3,958	5,955
その他	199	699
営業外収益合計	4,157	6,654
営業外費用		
支払利息	13,483	24,069
アレンジメントフィー	37,500	—
コミットメントフィー	7,430	4,771
為替差損	14,183	11,472
持分法による投資損失	—	4,527
その他	4,230	5,947
営業外費用合計	76,829	50,788
経常損失(△)	△297,590	△433,622
税金等調整前四半期純損失(△)	△297,590	△433,622
法人税、住民税及び事業税	314	△34,707
法人税等調整額	△77,474	△106,400
法人税等合計	△77,159	△141,108
四半期純損失(△)	△220,430	△292,514
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△220,430	△292,514

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
四半期純損失(△)	△220,430	△292,514
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△36,757	△312
退職給付に係る調整額	△2,521	△4,266
その他の包括利益合計	△39,278	△4,578
四半期包括利益	△259,708	△297,092
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△259,708	△297,092

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△297,590	△433,622
減価償却費	139,259	114,850
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,643	△500
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,328	36,239
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,700	△9,600
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△6,000	6,834
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△26,387	△27,792
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,160	2,080
受取利息	△3,958	△5,955
支払利息	13,483	24,069
売上債権の増減額(△は増加)	1,458,763	669,352
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,760,990	△1,607,934
未収入金の増減額(△は増加)	△17,284	814,753
仕入債務の増減額(△は減少)	△567,128	△1,701,453
前受金の増減額(△は減少)	△100,343	△213,496
未払金の増減額(△は減少)	2,766	△108,013
未払費用の増減額(△は減少)	21,364	△38,986
その他	36,942	27,298
小計	△1,110,956	△2,451,876
利息の受取額	3,958	5,955
利息の支払額	△13,223	△25,249
法人税等の支払額	△148,922	△62,199
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,269,144	△2,533,370
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△170,424	△418,304
無形固定資産の取得による支出	△8,925	△4,728
その他	54	4,938
投資活動によるキャッシュ・フロー	△179,295	△418,094
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,400,000	2,700,000
長期借入金の返済による支出	—	△25,000
リース債務の返済による支出	△1,105	△7,918
自己株式の取得による支出	—	△351,082
新株予約権の行使による収入	—	78,700
配当金の支払額	△252,548	△252,759
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,146,346	2,141,938
現金及び現金同等物に係る換算差額	△32,090	△551
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△334,183	△810,076
現金及び現金同等物の期首残高	2,430,391	2,713,839
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,096,207	1,903,762

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より、株式会社オプトランとの合弁会社ナノリソティックス株式会社を持分法適用の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年9月27日開催の取締役会決議に基づき、自己株式93,600株の取得、2023年10月24日開催の取締役会に基づき、取締役及び対象使用人に対する譲渡制限付株式報酬として自己株式5,879株の処分を行いました。また、ストックオプションの権利行使に伴い自己株式78,700株の処分を行いました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が213,890千円減少、自己株式が34,103千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が4,001,347千円、自己株式が34,133千円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

売上高の季節的傾向

前第2四半期連結累計期間(自2022年7月1日至2022年12月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自2023年7月1日至2023年12月31日)

当社グループの売上高は、中国・台湾・韓国といったアジア圏の顧客からの受注タイミングとの兼ね合いから、第1四半期から第3四半期連結累計期間の売上高に比べ、第4四半期連結累計期間の売上高が多くなる傾向があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	I J Pソリ ューション 事業	半導体 関連事業	L C D 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,910,536	1,217,216	2,072,398	5,200,151	—	5,200,151
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,910,536	1,217,216	2,072,398	5,200,151	—	5,200,151
セグメント利益又は損失(△)	172,199	236,532	△75,903	332,828	△557,746	△224,918

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△557,746千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社における売上原価・一般管理費△557,746千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	I J Pソリ ューション 事業	半導体 関連事業	L C D 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	507,708	4,564,963	210,636	5,283,308	—	5,283,308
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	507,708	4,564,963	210,636	5,283,308	—	5,283,308
セグメント利益又は損失(△)	△36,303	471,305	△35,393	399,607	△789,096	△389,488

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△789,096千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社における売上原価・一般管理費△789,096千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(設備投資の取得)

当社は、2024年1月23日開催の取締役会において、竜ヶ崎事業所における設備投資について決議いたしました。

1. 設備投資の目的

現在当社では、半導体関連事業において、生成AI先端半導体向け等の設備需要拡大を受け、対応する先端パッケージングにおけるウエハ薄板化に重要な役割を果たすウエハハンドリングシステムを中心に、受注が順調に積みあがっております。また、IJPソリューション事業においても、メタバース分野での適用拡大が期待されるマイクロディスプレイ向け一括封止ライン需要の捕捉に加え、スマートグラス等の次世代コミュニケーションツール向け設備需要拡大をにらみ、(株)オプトラン、JSR(株)との合併によるナノリソグラフィ事業の展開を通じ、受注積み上げに注力しております。

このような状況下、今後の事業拡大を見据え、生産能力を確保するとともに、顧客の要望に的確に対応する環境を有するクリーンルームを整備することで、持続可能な生産システムを構築することを目的に、本設備投資を行うことを決定いたしました。

2. 設備投資の概要

(1) 所在地	茨城県龍ヶ崎市向陽台5-2 本社敷地内
(2) 設備投資額	約20億円
(3) 設備概要	装置組立用建屋、クリーンルームなど
(4) 資金の調達方法	自己資金及び借入金により充当予定
(5) 着工予定	2025年2月
(6) 竣工予定	2025年12月

(多額の当座借越契約の締結)

当社は、(株)三井住友銀行と当座借越契約を下記のとおり締結いたしました。

なお、現時点での借入実行残高はありません。

(1) 資金使途	運転資金
(2) 契約日	2024年1月26日
(3) 契約先	(株)三井住友銀行
(4) 極度額	1,000百万円
(5) 契約期限	2025年1月31日
(6) 担保提供資産の有無	無